

だいじょうぶ
つながる
こそだて

だっこ通信

第64号 2025. 11月発行



言葉だけじゃない

乳幼児期のことばの発達って気になりますよね。生まれてすぐは寝ているか泣いているかですが、生後1か月頃から「あ〜」「う〜」などの音を発するようになり、そのうち「まママ」「ぱぱぱ」のような喃語が出てきます。1歳頃から「わんわん」のような意味のある単語が言えるようになってくると、「おっ、いよいよ言葉が出てくるのかな」と楽しみになります。ただ、**言葉の発達には個人差があります。その子なりのペースがあるので焦らず見守ってほしい**と思います。言葉以外の方法で伝えていることもいろいろあるのでご注目！

指さし

「見て見て」「あれだよ〜」
「〇〇見つけたよ」

手を振る 拍手する

「バイバイ」「またね」
「うれしいな」「おいしいな」

体を つんつん

「遊んで〜」「こっち見て〜」
「かまって〜」「相手して〜」

腕を引っ張る

「あっちに行きたい」「来て来て」
「見せたいものがあるよ」

オンフーのつぶやき

コミュニケーションは会話や文字などの「言葉」だけでなく、言葉以外の方法もいろいろあるよね。**顔の表情やジェスチャー、視線や相づち、声の大きさやトーン**など……。SNSとかで使われる絵文字やスタンプも、言葉だけでは伝えきれない感情や思いなどを補ってくれる。



乳幼児の頃はまだ言葉でうまく伝えられない分、**あの手この手でコミュニケーションを取ろうとするよね。その「伝えたい」という気持ちを大切にしたいな。**周りの大人が優しく話しかけたり、その子が伝えたい思いを代わりに言葉にしてあげたり、読み聞かせや歌でふれ合ったり……。様々な方法でコミュニケーションを取っていくことで、子どもは**人とつながる楽しさ**を感じていくんだと思う。

発行者：さくら市生涯学習課（担当 s.suzuki）